

論文の書き方について

内容

論文を書くときには、「誰が読んでも分かる文章なのかどうか」を考えて文章を構成していくことが大切です。誰が読んでも分かりやすい文章にするには、「説明の明瞭さ」と「説得力」が必要になります。そのために、まずは以下の3点に留意して論文作成をしてください。

- ①専門用語や略語について、説明がなされないままに論理が進んでいないか。
- ②説明が丁寧で論理展開に飛躍がないか。(説明しなくても皆知っているであろう、という思い込みはないか。)
- ③事実とそれを根拠にした意見によって文が構成できているか。

特に③については、論文ではなく感想文にならないために特に気をつけてほしい点です。そこで、改めて事実・感想・意見の違いを押さえましょう！

<事実>

- ・記録や数値といったデータで示せる。
- ・すべての人が納得し、反論できない。
- ・過去のものになることはあっても、変わることはない。

<意見>

- ・物事の是非や賛否、行動の提案といった主張のこと。
- ・議論の結果変わることもある。
- ・説得力のある意見を述べるためには客観的な事実の提示が必要。

<感想>

- ・物事に対し、自分がどう感じたか。
- ・個人の主観によるもので人によって違う。
- ・他人に否定されても変わることはない。

明瞭かつ説得力のある文章を書く上で、「感想を書かないこと」は非常に重要です。

意見の根拠に感想が混ざると、論文自体が説得力の欠けるものになってしまうからです。

一つひとつ事実を積み重ねて、自分の意見とその根拠についてしっかりと説明することが大切です。

説得力のある論文にするためにも、主観に偏っていないか、感想になってしまっていないかに気をつけながら書くようにしましょう。

論文構成シート

まずは、箇条書きで良いので、実際に論文に書く内容を書き出してみよう！

タイトル	① どのような問題に取り組むのかが伝わるタイトルを考える。 →「聞きたい！」と思われるような興味をひくテーマか。	①
背景・動機	② 研究の出発点になる現状・事実を述べる。 ③ どうしてその問題に取り組むのか、その理由の説明を書く。	② ③
仮説	④ どういった着眼点で、その問題の解決に取り組むのか、 仮説を明らかにする。 ⑤ どういった方法で仮説を検証するのか、説明する。	④ ⑤
実験・調査	⑥ 実験・調査によって明らかになった内容を詳細に説明する。 ⑦ 仮説を立証する客観的なデータを根拠に意見を述べる。	⑥ ⑦
結果・考察	⑧ 実験の結果から、どのような解釈をしたのか説明する。 ⑨ 取り組んだ問題への解答は何か明らかにする。	⑧ ⑨
結論	⑩ 仮説に対してどのようなことが言えるのか説明する。	⑩
課題	⑪ 未だに不明瞭な部分や、これからの展望など課題を述べる。	⑪

文章表現

書く内容が決まったら以下のことに注意しましょう！

- 論文では「～です。」「～ます。」ではなく「～だ。」「～である。」のような形を用いる。
- 論文はデータや資料に基づいた客観的なものであるため、「～と思う」のような主観的な文体は極力用いない。
- 段落の最初は1文字分下げしてから書き始める。

完成したら提出する前に以下のチェック項目をもう1度確認しよう！

論文チェックリスト

	内容	○
1	字体は「MS 明朝」になっている。	
2	タイトルのフォントサイズは 18 になっている。	
3	本文のフォントサイズは 10.5 になっている。	
4	ページレイアウトの余白は「やや狭い」になっている。	
5	1.背景と動機、2.仮説………7.課題は太字になっている。	
6	段落の最初は 1 文字空いている。	
7	語尾は「～だ。」「～である。」など言い切りのかたちになっている。	
8	「～だと思う。」を多用するなど、主観に偏ったり感想文になっていない。	
9	フォルダ名は正しいものになっている（班の番号は半角です） 例. 11 探究Ⅰ論文（田中よゼミ 1 班）	

※提出前に必ず確認しましょう